



札幌市立桑園小学校 学校だより
www.soen-e.sapporo-c.ed.jp
令和8年8月24日第4号
※帰宅時刻は17時です

心地よい

教務主任

先日、夕方の情報番組の特集で札幌市の「駅周辺住み心地ランキング」が発表され、桑園が1位となっていました。交通面や生活に関する施設が多いことが理由として挙げられていました。2027年春に、「桑園クワノワ・スクエア」が新たに誕生することにも触れられていました。

赴任して3年目となりますが、私は桑園地区同様、この桑園小学校も「心地よい」学校だと感じています。日々子どもたちの姿から3つに絞ってお伝えします。

①あいさつ・廊下歩行

7月をあいさつ月間とし、学校中がすてきなあいさつに溢れていました。各学年で様々な取組も行い、例えば1年生では、あいさつをした子が1枚1枚小さな紙を貼り、大きなひまわりが特徴のモザイクアートを作っていました。5年生ではあいさつに関するミッションが散りばめられたビンゴカードを楽しみながら、あいさつのレベルを高めていました。また、それに合わせて廊下歩行も『み・し・あーる』（右側を・静かに・歩く）という合言葉を掲げ、全校で意識を高めています。



②クラスでの過ごし方

子どもたちが過ごす教室の多くは壁がありません。学習中の他クラスの近くを通るときには、他のクラスの子が学習に集中できるよう、大きな声を出さないように気を付けている様子が多く見られます。『お互い様』の気持ちで、隣のクラスの学習環境にも心を配る姿は、まさに桑園小学校の誇りです。

③響かせる歌声

本校では学習発表会を2期に分け、学級ごとに公開します。今年は運動に関する発表も含め、20分間学習の成果を披露させていただく場となります。歌の発表も予定しており、桑園の子どもたちの歌は本当に感動します。「自分たちの歌声を相手に届けたい」という思いに溢れています。全校児童が響かせる校歌も大好きで、始業式や終業式などで、子どもたちと共に歌えることがいつも幸せです。

子どもたちのこうした姿は全て「相手を思う気持ち」の表れであり、心地よい「桑園小学校」をつくっている要因です。そしてそれは、自分自身を大切にすること、自分の存在を肯定することにつながっていくと私は考えます。これからも互いを尊重し合うこの学び舎中で、子どもたち一人ひとりが成長していけるよう、教職員一同、力を尽くして参ります。

2学期も本校の教育活動にご理解・ご協力いただければ幸いです。



傘立ても、自分と友達がとりやすいように工夫して置いています。